

「子どもは地域の宝・元気の源」

敦賀市立咸新小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

地域・学校協議会	3回
教育講演会	1回
親子学級「防災について」	1回
地域及び家庭への学校公開	5回5日

(2) 地域人材の活用（延べ人数）

講師・ゲストティーチャー	30名
授業ボランティア	100名
読み聞かせボランティア	130名
登下校支援ボランティア	1000名

(3) 特色ある活動

テーマ 『交通事故から子供の命を守る』

具体的活動内容

子どもの交通事故は、歩行中の事故よりも自転車乗車中の事故が多いという。しかし、残念ながらヘルメットを持っていない児童が多いというのが咸新小学校の実態である。交通事故から児童の命を守るためには、ヘルメットの所持率を上げ、着用率を100%に近づけ、保護者・地域の意識がひとつになっていく必要がある。

- ① 交通指導員、市役所・警察の方、PTAボランティアさんにお世話になり、自転車の安全な乗り方の実地訓練等を行った。

<第1回交通安全教室 4月27日 1～4年生>

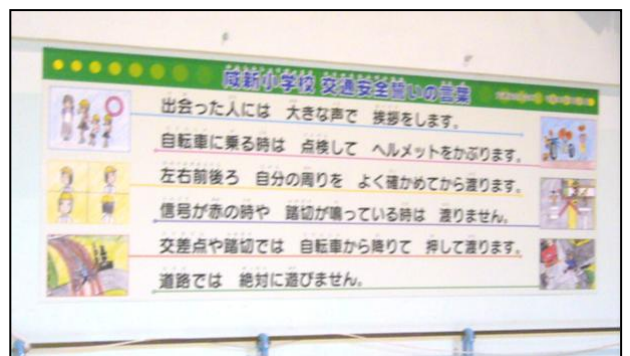
1年生は踏切や交差点での安全な歩き方を、2～4年生は自転車に乗る前の点検、発進のときの注意やブレーキの正しいかけ方を指導し、さらに3・4年生はコースを走り、実際の道路に近い形での練習をした。

<第2回交通安全教室 6月8日 3～6年生>

実際の道路を走り、交差点や踏切の渡り方、発進するときの注意点などを学習した。保護者の方にもボランティアとして協力いただき、交通量の多い道路を渡って緊張感のある訓練を行った。

- ② 見守り隊や学校評議員の方々にも参加していただき交通安全大会（6月24日）を開催した。ヘルメットをかぶることの大切さを警察署生活安全課の婦警さんからお話していただいた。発泡スチロールをヘルメットに、卵を頭に見立てた実験では、落としても卵は割れなかったことに驚いていた。また、保護者・地域の方々が見守る中で、子どもたちが決めた「咸新小学校交通安全誓いの言葉」を唱和した。

- ③ PTAが中心となり、ヘルメット購入助成事業を打ち出した。一人に対して1000円の助成ではあるが、本年度2割の申請があり、来年度以降も継続していく事業になった。また、中学校へも、小学校で購入助成を受けたヘルメット（安全基準を満たしているので）で通学することができるようになった。



- ④ 児童がより強く交通安全を意識するように、「交通安全誓いの言葉」を交通安全大会で唱和したが、毎年の交通安全教室等の集会の場でも唱和できるように体育館にプレート看板として掲示することにした。この作成にあたっては、地域の方に賛同をいただき、東郷安全・安心ネットワークと青少年育成推進会議からの補助もいただいた。

成果と課題

交通安全大会の開催に加え、ヘルメット購入助成を来年度以降も続けることになったことは交通安全の意識を持続する上で意義がある。児童に限らず、大人も交通安全の意識を持つことが必要であるが、児童と保護者が一緒に学ぶことができる体験型の交通安全教室を開催することができないだろうか。対象を高齢者を含めた地域全体に拡大することができれば、地域の安全意識が向上し、引いては地域で子供の命を守ることに繋がると考える。